

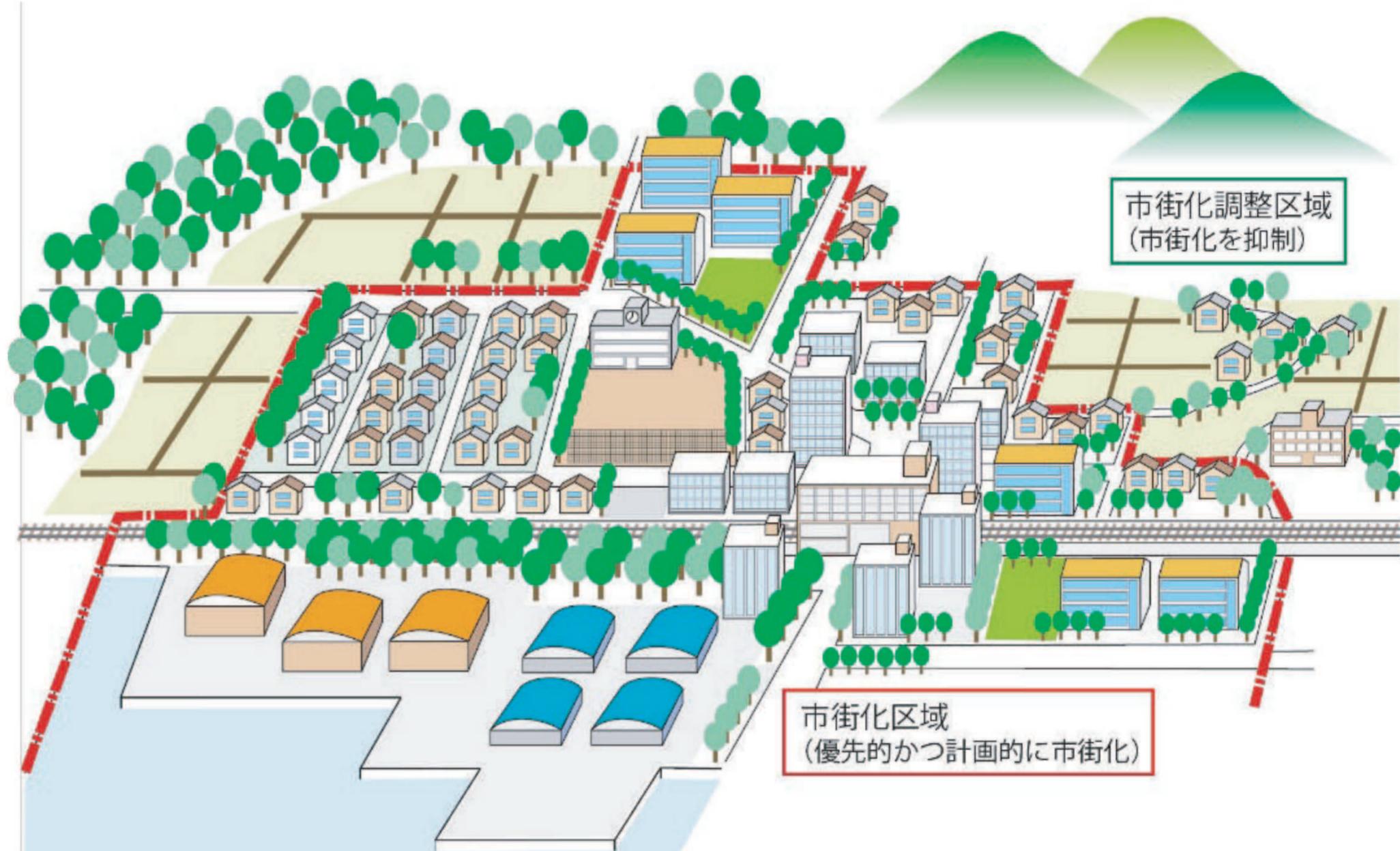
区域区分の決定の方針

区域区分の決定の方針

市街化区域は、人口及び産業の将来の見通しに基づき、市街地として必要と見込まれる適正な規模とし、原則、住宅開発などによる拡大を抑制。

市街化区域のおおむねの規模

	2020年	2035年
市街化区域面積	おおむね 20,395ha	おおむね 20,333ha



1 市街化調整区域への編入

- 自然環境の保護、都市の防災性向上が望まれる区域 → 市街化調整区域に編入
- 計画的なまちづくりに時間を要する区域 → 暫定市街化調整区域に位置付け

2 市街化区域への編入

- 上位計画に位置付けがあるなど、事業の妥当性が認められ
 - 計画的なまちづくりの見通しが確実となった区域 → 市街化区域に編入
 - 計画的なまちづくりに時間を要する区域 → 特定保留区域に位置付け
- 暫定市街化調整区域、特定保留区域 → 計画的なまちづくりの見通しが確実になった段階で、農林漁業との調整を経て市街化区域に編入

都市づくりの方針の概要

居住・都市機能

50年先も心地よく健やかに住み続けられるまちの実現

人口減少に対応し、安全・安心・快適に住み続けられる**持続可能なまち**の実現に向け、現在の**コンパクトな都市構造**を活かしながら、市民・事業者・行政が一体となってまちづくりを進めます。

1 居住に関する方針

市街化区域を「駅・主要バス停周辺居住区域」「山麓・郊外居住区域」に分け、それぞれの特性に応じた取り組みを進めていきます。

2 都市機能に関する方針

広い範囲をサービスの対象とする広域型都市機能を、都心核・都心拠点・地域拠点などの周辺に誘導し、維持・充実・強化します。

3 取り組みの方針

「コンパクト・プラス・ネットワーク」「さまざまな分野との連携」の観点で取り組みを進めていきます。

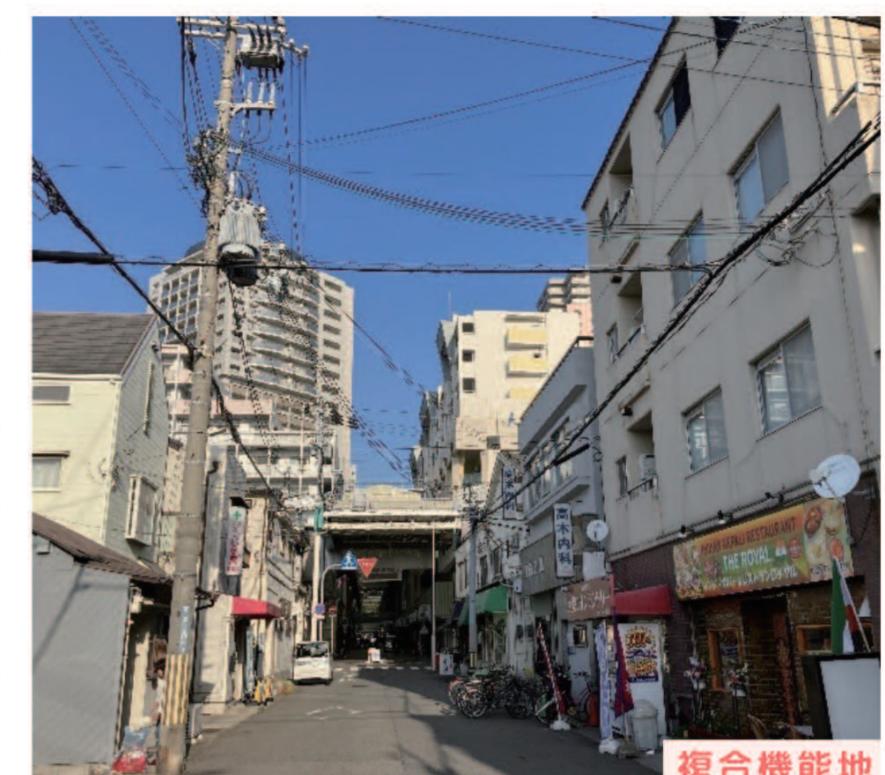


都市づくりの方針の概要

土地利用

1 市街化区域の土地利用

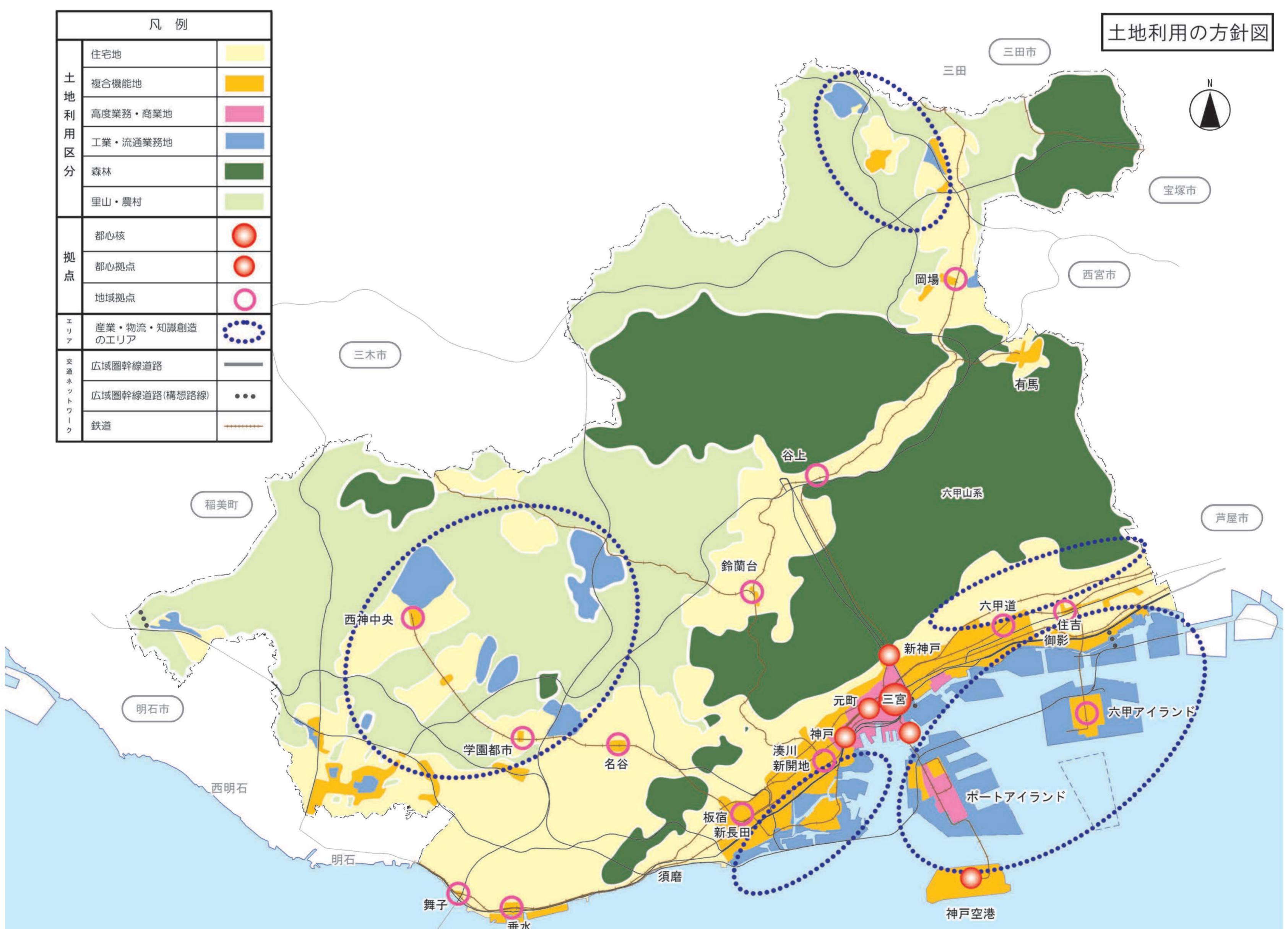
- 住宅地では、一人ひとりにあった“暮らしやすさ”を実現するため、ライフステージや価値観に合わせた多様な住まいや働く場、生活に必要な身近なサービス機能、交流の場などを誘導します。
- 三宮周辺では居住機能を抑制し、都心部と郊外などのバランスのとれた住宅の供給を誘導します。
- 主要な鉄道駅周辺などの複合機能地では、住機能、商業・業務機能、行政機能、文化・教育環境など、多様な都市機能の充実を進めます。
- 三宮周辺やウォーターフロント、ポートアイランドなどの高度業務・商業地では、圏域全体の発展を牽引する業務・商業機能の高度な集積を進めます。
- 臨海部や内陸部の産業団地などの工業・流通業務地では、人・物・技術・情報が集積する環境をつくり、既存の産業の発展や新産業の育成、それによる働く場の創出などにより、神戸経済を牽引するエリアを形成します。



2 市街化調整区域の土地利用

自然環境の保全・育成を図るとともに、農村環境など地域特性を活かした秩序ある土地利用を誘導します。里山・農村では、豊かな自然や農地に囲まれながら都市的で便利な生活ができる神戸ならではの「里山暮らし」を促進します。六甲山系においては、遊休施設などを利活用した観光・業務機能などを誘導します。

凡 例	
土地利用区分	住宅地
	複合機能地
	高度業務・商業地
	工業・流通業務地
	森林
	里山・農村
拠点	都心核
	都心拠点
	地域拠点
エリア	産業・物流・知識創造のエリア
	広域幹線道路
交通ネットワーク	広域幹線道路(構想路線)
	鉄道



都市交通

1 市内外や世界との交流を促進する交通環境の形成

市内外や世界の人々との交流を促進するため、三宮や新神戸、神戸港、神戸空港など陸・海・空の玄関口の機能強化や、海、まち、山をつなぐ南北交通軸の機能強化を進めます。

2 共創の取り組みによる持続可能な交通環境の形成

使う人や場所に応じた快適な移動を実現するため、地域特性に応じた持続可能な公共交通ネットワークの形成や、駅・バス停周辺の交通結節機能の強化、誰もが利用しやすい交通環境の形成を進めます。

3 都市・地域間の人・物・技術・情報の交流を促進する道路環境の形成

都市・地域間の移動や交流を促進するため、主要幹線道路ネットワークの形成を進めるとともに、渋滞対策や自転車走行空間の整備などによる快適な道路環境の形成に取り組みます。

凡例	
市街化区域	■
主要幹線道路 ※路線名称（都心計画道路名等）	—
山城重複道路	—
都市内幹線道路	—
補完的幹線道路	—
フェリー・客船など	□
空港	□
新幹線	□



凡例	
市街化区域	■
広域公共交通（鉄道）	—
主要公共交通（バス）	—
主な交通結節点 （バス・鉄道乗り換え）	●
フェリー・客船など	□
空港	□
新幹線	□



4 人と公共交通が中心の都心の交通環境の形成

都心の回遊性を高め、にぎわいや活力を生み出すため、駅とまちをつなぎ、神戸の玄関口にふさわしい空間「えき≈まち空間」を創出するとともに、多様な交通手段の導入や魅力的な道路環境の利活用を推進することで、人と公共交通が中心の居心地がよく歩きたくなる交通環境の形成を進めます。

主要幹線道路ネットワーク図



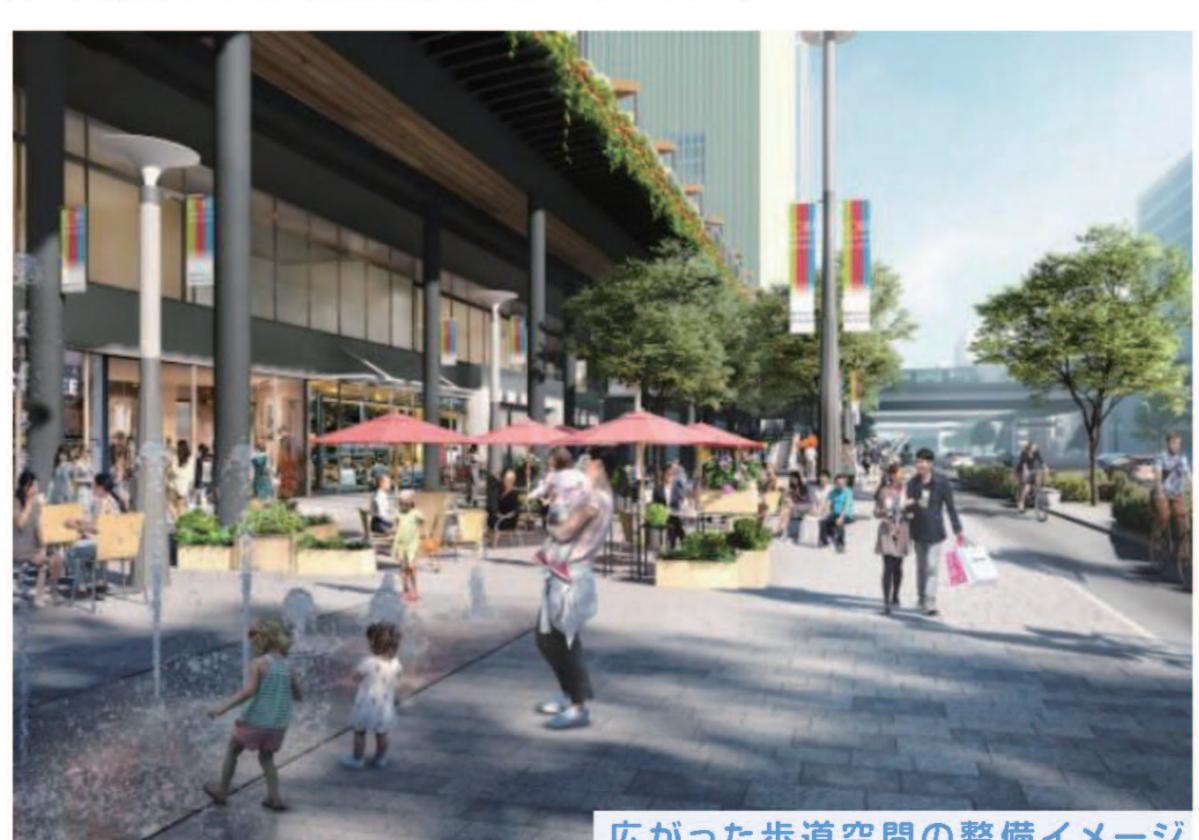
新たなバスターミナル



神戸電鉄粟生線の活性化の取り組み



神戸西バイパス整備状況



広がった歩道空間の整備イメージ

都市づくりの方針の概要

市街地・住環境整備

1 都心の再生

神戸全体のまちや経済を活性化し、都市の国際競争力を高めるため、新神戸～三宮～神戸駅周辺やウォーターフロント、ポートアイランド、神戸空港島において、建築物などの整備、更新に合わせた多様な都市機能の導入や、官民連携によるエリア特性を活かした質の高い都市空間の形成など、面的な再整備を推進します。



都心・三宮の再整備



ウォーターフロントの将来イメージ

2 既成市街地・ニュータウンの再生

住んでいる人が、地域に愛着を持つことができ、安全で快適な暮らしを実現するため、既成市街地の商業地や臨海部の新市街地、老朽木造住宅の密集市街地、空き家・空き地の多い山麓部の住宅地、スponジ化リスクの高いニュータウンなど、それぞれの地域の特性や課題に応じて、既存ストック(空き家・空き地や公共施設)を有効活用した、まちのリノベーションを推進します。



商店街の空き店舗の改修(長田区)



山麓部の空き家の改修(兵庫区)



バスロータリー周辺の再整備(垂水区)

都市環境

1 良好な緑地環境や水環境の保全・育成

山や海、里山・農村などの豊かな自然をまもり、そして、暮らしにゆとりや潤いを感じる環境をつくるため、森林・里山の再生や、まちの価値を高める水と緑の空間の創出、魅力的な公園・緑地づくりを進めます。



雌岡山(西区)

2 気候変動に対応する持続可能な空間づくり

常態化する異常高温に対応し、環境に優しい持続可能なまちづくりを進めるため、環境負荷の低減に資する交通インフラなどの形成や、まちなかでの暑熱対策の推進、脱炭素社会の実現に資する空間づくりを進めます。



こうべ木陰プロジェクト

3 自然と都市が近接する神戸の特徴を活かした魅力的な空間づくり

市街地のすぐ近くに豊かな自然が広がる神戸の特徴を活かした魅力的な空間づくりに向けて、六甲山系と須磨～舞子海岸の活性化や、農村と都市の交流・循環を進めます。



須磨海岸

4 都市活動を支える都市施設

今後大量に更新期を迎える道路や橋梁、上下水道などのインフラ施設について、点検・補修や、計画的な改築更新を進めるとともに、物流効率化に向けた流通業務団地の整備・機能更新や、生活や事業活動に必要な廃棄物処理施設の適正な立地誘導を進めます。



ドローンを活用した橋梁点検



安全・安心

1 防災まちづくりの推進

土砂災害や洪水、高潮など、激甚化・頻発化する災害に強くしなやかに備え、あらゆる人々にとって安全・安心な暮らしを実現するため、デジタル技術も活用しながら、ハード・ソフトの両面から総合的な防災対策を進めます。

2 防災拠点・交通体系の機能強化

市役所や区役所を中心とした防災拠点の機能強化や交通ネットワークの強化を進めます。



3 地震・火災に強い空間づくり

建築物やライフラインの耐震化・不燃化や、延焼遮断機能の確保を進めます。



4 土砂災害・水害に強い空間づくり

土砂災害対策や津波・高潮対策、治水対策を、ハード・ソフトの両面から総合的に進めます。



5 災害への備えと地域の防災力の強化

防災ガイドの配布や出前トーク、デジタル技術を活用した情報発信などにより、意識の啓発や知識の普及を進めます。そして、地域の住民や事業者と共に、災害時にも被害を最小限にとどめるまちづくりを進めます。



都市デザイン

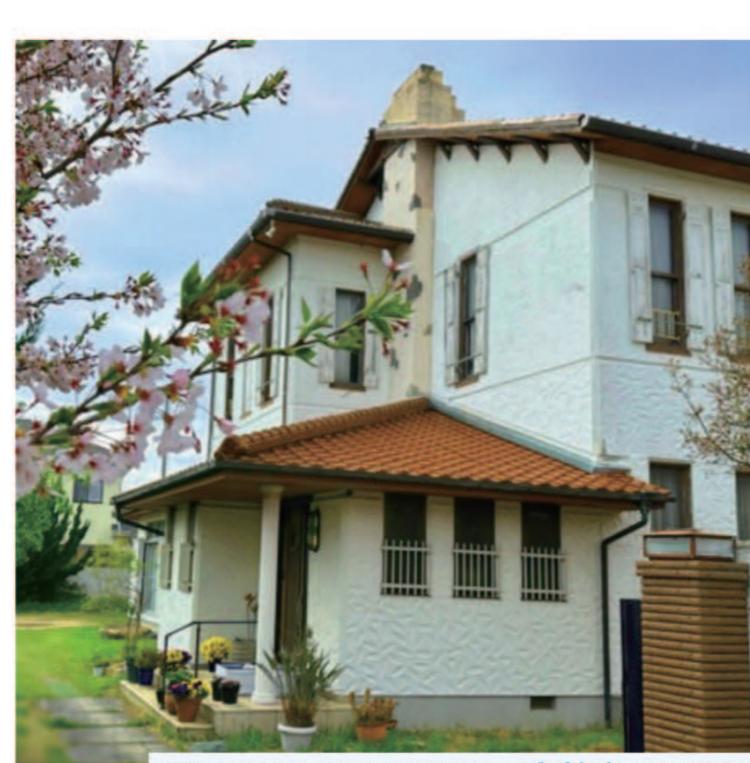
1 神戸固有の多彩で特色ある景観の形成

紡いできた多彩なまちの魅力をまもり、そだて、磨き上げ、活かすため、眺望景観の保全・育成や、神戸らしい特徴的なまちなみの形成、魅力やにぎわいを生み出す夜間景観の形成、デザインされた居心地のよいパブリックスペースの創出などを進めます。



2 景観資源の保全活用

まちの固有の魅力をより一層高めるため、歴史的な価値がある建築物や地域を特徴づける建築物など、地域に愛され親しまれている景観資源の保全活用を進めます。



3 地域の個性を磨き上げる取り組み

地域への愛着や暮らしの質を高めるため、地域ルールの策定・運用や、居心地のよい空間づくり、地域の活動やイベントなどの振興を通して文化的景観をまもりそだてる取り組みを進めます。

